



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和3年9月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺発生状況(暫定値)

	令和3年8月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	839	--	約14億2,500万円	-393	約9億7,500万円
オレオレ詐欺(息子・孫などをかたって現金をだまし取る)	229	27.3%	約5億8,800万円	-35	約2億2,700万円
架空料金請求詐欺(未払い料金や名義貸しなど、架空の請求をする)	55	6.6%	約2億3,400万円	-30	約1億7,200万円
融資保証金詐欺(実際は融資しないのに、手数料などをだまし取る)	6	0.7%	約300万円	-10	約1,400万円
還付金詐欺(還付金の手続を装って、ATMへ誘導し操作させる)	204	24.3%	約2億2,800万円	+147	約1億5,500万円
その他の手口	4	0.5%	約800万円	-6	約3,600万円
キャッシュカード被害の合計	341	40.6%	約3億6,400万円	-459	約6億8,100万円
預貯金詐欺(キャッシュカード手渡し型) (キャッシュカードを手渡しで受け取ってだまし取る)	174	20.7%	約1億9,000万円	-184	約2億7,200万円
キャッシュカード詐欺盗(キャッシュカードすり替え型) (キャッシュカードを封筒に入れさせ、別の封筒とすり替える)	167	19.9%	約1億7,400万円	-275	約4億 900万円

2 情報掲示板

一般の方による被害防止好事例

【事例1】ATMで携帯電話使用者に声掛け阻止!

70代男性は、「医療費の還付金がある」との電話を受けたことから、指定されたATMに行き、犯人に電話して、指示されたとおり操作を始めました。男性の後ろに並んでいた女性は、携帯電話を使用しながらATMを操作する男性の様子から詐欺の被害を疑い、声を掛け、電話を切らせて警察に通報するなどして、被害を未然に防止しました。



【事例2】コンビニで購入方法が分からない人に声掛け阻止!

80代女性は、高額の当選金がもらえるとのメールが届き、登録金として電子マネーを購入するよう指示されたため、コンビニに行きました。来店客の女性は、高齢女性が電子マネーの買い方が分からず困っている様子であったため声を掛けると、購入理由を説明したため、詐欺の可能性が高いことを説明し、被害を未然に防止しました。

【事例3】高額電子マネー購入者に声掛け阻止!

70代女性は、「未納に関する連絡」と書かれたメールを受け取り、メール記載の電話番号に電話して、犯人に言われるがまま、コンビニに20万円分の電子マネーを購入しに行きました。コンビニ客の男性は、女性が高額な電子マネーを購入していることから詐欺の被害を疑い、店外に出たところで声を掛け、購入理由を尋ねました。すると女性が電子マネーを購入すると言われたなどと説明したため、詐欺だと確信し、警察に通報して被害を未然に防止しました。

皆さんの周りにも、だまされている人がいるかもしれません。
「もしかしたら?」と思ったら、積極的に声を掛けていただくか、
警察に連絡をお願いします。

